

活動報告書のまとめ方

2023年4月1日 認定審査会

1. 取り組みの背景

- ・ 取り組みの背景には、活動報告書で紹介する取り組みについて背景となる地域の状況や前提となる組織の体制、先行して行っていた取り組みなどを記入する
- ・ 執筆者の活動であることが分かるように記載する

2. 課題の整理・抽出

- ・ 課題の整理・抽出には、報告する取り組みに至った理由を記入する
- ・ 前項と含めてどのような現状から何を考え課題に設定したのかを記入する
- ・ 背景や活動に対しての評価結果を記載し、活動における課題を整理する

3. 取り組み方法

- ・ 取り組み方法（内容）については、前項の課題の解決のためどのような取り組みを行ったのか内容を記入する
- ・ 取り組み内容について他の地域や訪問リハに従事する方に参考となるよう、取り組み開始のポイントや問題の解決策などを併記する
- ・ 法令を遵守した取り組みであることが分かるよう記載する

4. 経過および考察

- ・ 経過および考察の項では、取り組みの結果、課題の解決に対する効果や地域への影響などを経過と共に考察する
- ・ 取り組みの成否は問わない、むしろ失敗した報告も重要で、その失敗が他者の参考になる場合がある
- ・ 取り組みの結果を再評価し、その評価結果に基づいた考察となるよう記載する

5. その他

- ・ 写真や図表の添付はできない
- ・ 他者や他事業所に対して批判的な表現を使用しない
- ・ 個別の事例を例示する場合、対象者となる個人が特定できないように年齢、病院・施設、経年など個人特定に繋がる情報の匿名化を厳守する
- ・ 提出前に、可能な限り第三者の添削を受けるなどして、誤字脱字、不適切な文章表現はないか十分確認する